

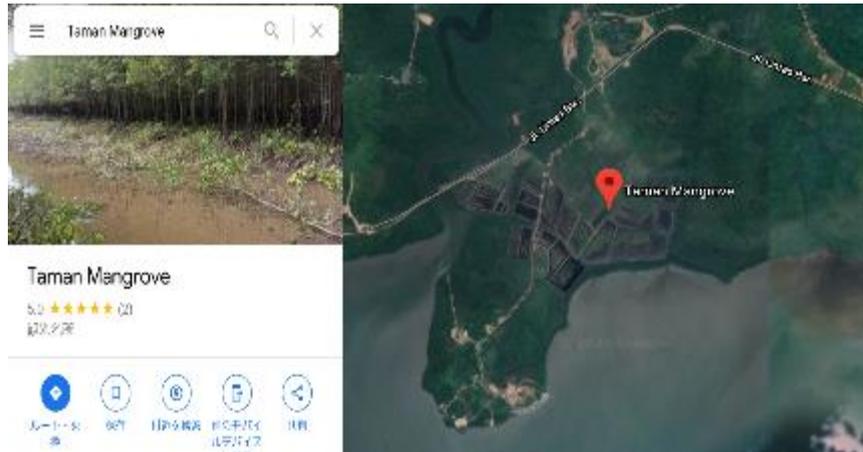
「リコー ビンタンの森」

現地業務報告



2024年02月（第10回目報告）

ワイエルフォレスト株式会社



上記表中に記載の GoogleMap の URL(<https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7>)から、以下の地図が開きます。

植林現場は、9つに区画分けされた養殖池跡地で合計約 29 ヘクタールあり、各々の池面積は以下の表の通りです。



植林地番号	平方メートル(m ²)	ヘクタール(ha)
B	20,813	2.0813
C	37,682	3.7682
D	34,783	3.4783
E	13,400	1.3400
F	36,300	3.6300
G	38,000	3.8000
H	55,685	5.5685
I	19,100	1.9100
J	34,700	3.4700
合計	290,463	29.0463

現在までの「リコー ビンタンの森」植林実績としましては、

- ・ 2019 年度合計：10,000 本
- ・ 2020 年度合計：72,252 本
- ・ 2021 年度合計：56,923 本
- ・ 2022 年度合計：34,004 本
- ・ 2023 年度合計：43,842 本

累計植林本数は、217,021 本となっております。

2. 第9回目植林の様子

植林地 J

前回までの植林活動にて植林地 B、C、D、E、F、G、H 及び I へ植林が完了致しましたので、2024年2月の第9回目の植林活動では新しい植林地 J へ、2023年度の43,842本の内、13,842本の植林を実施致しました。

今回、リコーグループ様から高橋様、岡野様のお二人の「リコー ビンタンの森」視察に併せて、約50名のマングローブ愛好家のメンバーと一緒に、高橋様、岡野様のお二人にも実際に植林を体験して頂きました。



高橋様と岡野様による植林風景です。



アディ氏とも交流されました。



マングローブ愛好家の方々も参加して頂きました。



3. 現地視察報告

植林地 B

植林地 B は第 1 回目（2020 年 3 月）及び第 2 回目（2020 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。2024 年 2 月時点で 3 年 5 カ月～3 年 11 カ月程が経過しています。

弊社社員が各植林地のマングローブを、ドローンを使用して上空から撮影した写真がございますので、別途資料にて送付致します。また植林地 B のマングローブの活着率は 90%程です。



植林地 C

植林地 C は第 2 回目（2020 年 9 月）及び第 3 回目（2021 年 3 月）の植林活動にて植林を行っております。2024 年 2 月時点で 2 年 11 カ月～3 年 5 カ月程が経過しています。

植林地 C のマングローブも順調に成長しており、一部のマングローブは既にアディ氏の身長を超える高さまで成長していました。綺麗に列に整列されており、アディさん、愛好家の方々によって適切に管理されています。また 70～80%程のマングローブに支柱根を確認することができました。



植林地 D

植林地 D は第 3 回目（2021 年 3 月）及び第 4 回目（2021 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。2024 年 2 月時点で 2 年 5 カ月～2 年 11 カ月程が経過しています。

植林地 D のマングローブも順調に成長しており、ほとんどのマングローブに支柱根が生えていることを確認することができました。

今回、実際に植林地 D の中へ入ってマングローブを確認することができました。植林地 D のマングローブにつきましても一部のマングローブの樹高が既に成人男性の身長を超えているものを確認できました。また植林地 D のマングローブの活着率は 80%程です。



植林地 E

植林地 E は第 4 回目（2021 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。2024 年 2 月時点で 2 年 5 カ月程が経過しています。

植林地 E のマングローブもほとんどのマングローブに支柱根が確認でき、葉も多くついており、順調に成長しています。

前回の視察時には植林地 E のあぜ道に草が繁茂して道を塞いでいたため、植林地エリア内に入ることができませんでした。今回はアディ氏の指示の下、草を除きあぜ道から植林地内に入ることができるようになっており、アディ氏から情報を頂きました。植林地 E の活着率は 80%程とのことでした。今回は植林イベントも実施しましたため、時間の都合が合わず、植林地 E の撮影を行うことが出来ませんでした。また次回のご報告で写真を掲載させていただきます。

植林地 F

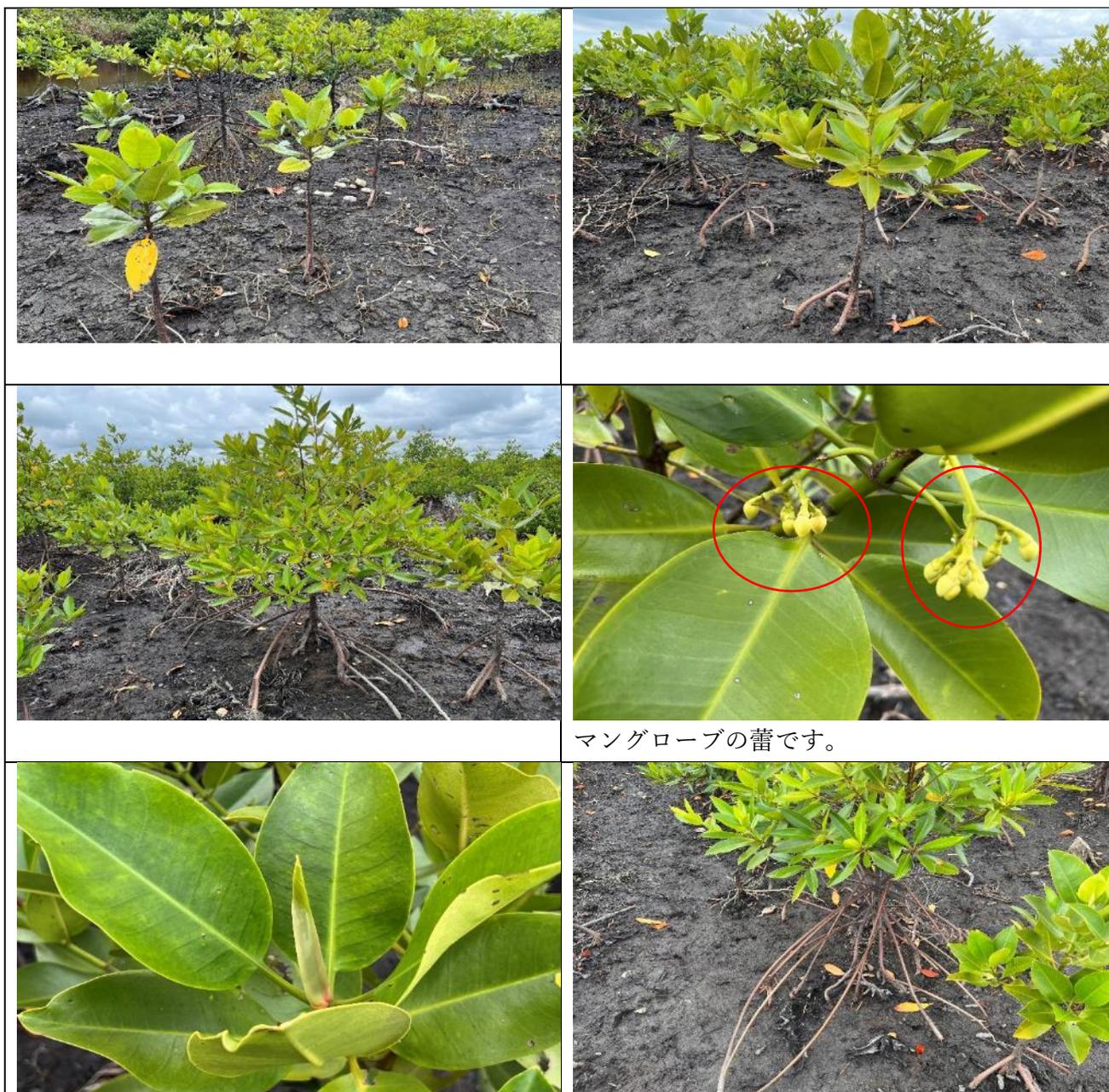
植林地 F は第 5 回目（2022 年 3 月）の植林活動にて植林を行っております。2024 年 2 月時点で 1 年 11 カ月程が経過しています。

植林地 F にはインドネシア政府がコロナ禍に対する住民支援の一環として数年前にマングローブ植林を行ったものの、管理されずに放置されたマングローブがあり、それらのマングローブも「リコー ビンタンの森」のマングローブと共にアディ氏によって管理されています。

「リコー ビンタンの森」のマングローブには既に支柱根が生えているものもあり、幹がしっかりと太く真直ぐに伸びており、順調に成長を続けています。

また、植林地 F のマングローブの一部に、蕾を付けているマングローブも確認できました。やがて蕾が花となり、その後胎生種子を形成します。





マングローブの蕾です。

植林地 G

植林地 G は第 6 回目（2022 年 9 月）の植林活動にて植林を行っております。2024 年 2 月時点で 1 年 5 カ月程が経過しています。

植林地 G でもインドネシア政府の新型コロナに対しての支援により植林され放置されたマングローブが残存していますがこの残されたマングローブもアディ氏の意向により「リコー ビンタンの森」と共に管理されています。

植林地 F に植林されたマングローブの内、水路側にあるマングローブも順調に成長を続けています。一部のマングローブには既に支柱根を確認することができました。



植林地 H

植林地 H は第 7 回目（2023 年 3 月）及び第 8 回目（2023 年 10 月）の植林活動にて植林を行っております。2024 年 2 月時点で 5 カ月～11 カ月程が経過しています。

植林地 H の第 7 回目植林のマングローブは活着率も良く、葉を多くつけており、幹も太く真直ぐに伸びており、アディ氏の管理の下順調に成長しています。また、植林して半年程経過したマングローブは特に成長が早く、前回視察を行った 2023 年 12 月よりも樹高が高くなっているように感じました。



植林地 I

植林地 I は第 8 回目(2023 年 10 月)の植林活動にて植林を行っております。2024 年 2 月時点で 5 カ月が経過しています。

植林地 I につきましても、インドネシア政府の新型コロナに対しての支援により植林され放置されたマングローブが残存していますがこの残されたマングローブもアディ氏の意向により「リコー ベンタンの森」と共に管理されています。

この度、植林イベントがありましたため時間の都合が合わずに、植林地 I の撮影を行うことができませんでした。また次回のご報告で写真を掲載させていただきます。

以上